

平成 20 年度 学校自己評価システムシート

山村学園高等学校

達成度	A ほぼ達成 (8割以上)
	B 概ね達成 (6割以上)
	C 変化に兆し(4割以上)
	D 不十分 (4割未満)

目指す学校像	校訓「質実・英知・愛敬」を踏まえ、人格の完成を図るとともに、現代社会にふさわしい洗練された知性と、豊かな感性をそなえた人材を育成する。
--------	---

重点目標	<p>1. 「学校生活の充実を合言葉とし、授業・HR・学校行事・部活動・ゼミ・資格取得など、教育活動全般にわたり、全教職員一致団結のもと、きめ細かな指導により、生徒に達成感（成就感）を与える教育を行う。特に「7つの習慣J」の導入・敷衍については組織として取り組む。また、皆勤・精勤を奨励する。</p> <p>2. 生徒の心情を良く理解し、その実情を踏まえ、確かな常識を身につけさせる指導を行う。非社会的・反社会的行動の未然防止に努めるとともに、特に、あいさつの励行など、本校生徒指導の根幹である「しつけ教育」については一致した指導方針のもとで、生徒・保護者や地域の期待に応える指導を行う。特にいじめの発見にはアンテナを高くして情報収集に努め、拡大を未然に防止する。</p> <p>3. 進路指導部と各学年との連携を密にとりながら、生徒一人一人の能力や適性を生かした進路指導の実現を図るため、生徒の進路意識をさらに深化させるとともに、一般受験を中心とした指導により一段高い進路実現に結びつける指導を行う。</p> <p>4. 保護者会・三者面談・授業公開など、あらゆる機会をとらえて本校の教育方針や指導の重点目標を話題として取り上げ、保護者等と積極的な連携を図る。</p>
------	---

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (3 月 1 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	・今年度より共学化がスタートし、学校生活全体の改善が必要である。 ・「7つの習慣J」の授業の成功を目指す。	授業時間の確保 HR活動の充実 生徒の自主性の育成	・チャイムと同時の授業スタート ・QUを利用したHR運営と「7つの習慣J」の心の教育 学校行事・部活動の積極的参加	生徒がチャイム着席できているか 人間性豊かで思いやりのある生徒が増えたか 学校行事の出席率 100% 部活動の全国・関東出場	教員の意識も高まりチャイムが鳴ってから教室へ向かう先生は大幅に減少している ほぼ全員で取り組んでいる。 全国大会・関東大会出場7部活	A	ひき続きチャイム着席、授業スタートは行っていく。 出張等の自習の減少を目指す 心の教育（7つの習慣J）の充実 男子部活動（野球・サッカー）の設備を整える
2	・正しい制服の着用や挨拶の励行の向上を図る ・いじめの撲滅を進める	服装・髪型の適切な指導 生徒の意見や悩みに適切に対応	長期休業後の学年による服装髪型指導 養護教諭のカウンセリングや担任による個別面談	髪型・服装の向上がみられたか 不登校生徒の人数	朝の校門指導等の効果がみられ向上している 欠課時数や欠席日数の補填により不登校生徒の改善がみられた	B	今年度の取り組みを継続し、教員の共通理解を深める 保護者との連携を密にし、生徒の悩みの早期発見に努める
3	・生徒個々の能力や適性を生かした進路指導の実現を図る。 ・一般受験者の指導の充実を推進する。	生徒の進路希望の達成 学力向上 自学自習	進学ガイダンス・大学出張講義・進路相談会の充実 受験対策講座の取り組み 家庭学習の習慣化	現役進学率 98%とし、うち大学進学率は 70%とする 講座の出席率 100% 与えられた家庭学習時間の実行率 40%	現役進学率 94%・大学進学率は 75%を達成 特進クラスはほぼ 100% 1年7% 2年9% 3年23%の実行率	B	さらに大学進学率の向上を目指す 家庭学習の達成率が低い原因を究明し、実行率を向上させる
4	・開かれた学校をめざし、学校からの情報発信を推進する	学校HPの活用 学校説明会・学校公開の実施 中学校・塾への情報発信	学校の行事をHPで公開する 10月に三日間授業公開を実施する 中学校訪問・塾訪問を年2回実施	HPの見やすさ 保護者の参加数 中学校・塾から得る情報	HPに関してはおおむね良好 学校説明会4回実施 授業公開を土曜日に設定することで参加者が増えた 中学校訪問・塾訪問を全教員で取り組めた	A	HPでの情報の公開をさらに進める 一日のアクセス数がわかるように設定 行事への保護者参加をより多くするために工夫する